

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690800018
法人名	株式会社 みさき
事業所名	グループホーム みさき
所在地	鹿児島県出水市荘850-3 (電話) 0996-64-2780
自己評価作成日	平成22年5月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年5月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

春には施設の周りに桜が咲き誇り、冬には鶴が窓の外から観られる田園地帯に位置し環境にも恵まれた広い敷地内を自由に散策されたり、在宅の生活と同じような雰囲気の中で寛がれ、入居者の思いを第一に、スタッフが寄り添いながら共に生活をしています。又、スタッフは入所者の体調の変化を見逃すことなく、転倒、事故にも注意しながら、安心した生活を送って頂けるよう日々努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・管理者・職員は、「嬉しい」と感謝される介護を目指して研鑽を重ね、必要な事は話し合いを行いケアに活かすように取り組んでいる。
- ・地域の会合や敬老会等の行事に参加したり、小・中学生のボランティア訪問の受け入れなど、地域の中で住民との交流を積極的に行っている。
- ・排泄自立のための研修の機会を設け自尊心をもって生活できるよう、各居室に整備されているトイレを生かしながら支援している。
- ・永年、福祉職に携わってきた管理者を中心に、職員は連携を取り合い、利用者の個性を大切にしながら、共に寄り添い穏やかな日々を過ごしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内だけの閉鎖された生活にならないよう、常に、地域の方とふれあう機会を儲け、その人らしい安心した生活が出来るように努めている。	ホーム独自の理念を作成している。月2回、スタッフ会議で、理念を日々のサービス提供の振り返りとして話し合っている。理念は玄関に掲示したり、パンフレットや説明文書に記載して常に意識付けを行いケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の方の畑を借りて野菜など作らせてもらいながら、作り方を教わったり、収穫した野菜をくださる方もいらっしゃる。又、自治会に加入する事で交流がもてるようにしている。	自治会に加入し、地域の会合や敬老会等の行事に参加している。地区の消防分団員や近隣住民との交流もある。小・中学生のボランティア訪問やホーム見学等があり、地域へ施設の文化祭の案内をしたり、積極的に地域交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の消防団との合同避難訓練を行い、利用者に対する理解と身体の状態（歩行が出来る方、車椅子の方）など把握して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	公民館長、民生員、包括支援センター職員、家族会代表に出席して頂き、2ヶ月に1度開催し、今後の活動や対策について意見を聞きサービスの向上に努めている。	会議は、家族代表・住民代表・市担当者の参加を得て、ホームの活動報告等を行い、各代表からの意見を聞いている。消防分団員の意見を基に避難訓練の実施につながるなど、ホーム運営に会議が活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>包括支援センターの方や介護保険課などに利用者に関する相談をさせて頂き、課題解決のために助言や指導を受けたりしている。</p>	<p>市開催の事業所の会議に参加したり、ホームの敬老会に市の担当者が参加するなどして、気軽に相談しやすい関係作りができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止に関する指針を作り、勉強会や研修を受けたりしているが、身体に危険な状況の場合のみ家族の同意を得て行う事があるが、利用者には不快が無いように常に努めている。玄関の施錠は行っていないが、三号線に面しているので門のみ施錠し、門外は職員が同行する。</p>	<p>身体拘束廃止の指針を作成している。ていねいな見守りを徹底し、身体拘束をしない自由なくらしを支援している。また、夜間帯での室内の見守りには安全を確保のためにセンサーを併用している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束や虐待のないよう職員の理解と意識を高め、利用者に対して尊敬の意を込め込めて言葉に対しても気をつけるようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>対応が必要と思われる利用者はいらっしゃらないが、職員に理解してもらうために勉強会を行い、これからの支援に結びつけて行きたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書、重要事項説明書は、良く読んでもらい、不明な点など確認しながら説明するようにしている。特に個人情報、起こりうるリスク、重度化や看取り、事業所の考えや取り組みなど説明をし同意を得るようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族等には意見や要望をお聞きしたり、言いにくい方に対しては意見箱を設置している。利用者の方には常に問いかけ、改善に向けて話し合う。思いや意見を上手に表すことの出来ない方には表情、態度からその思いに近づけるよう努めている。</p>	<p>意見箱を設置しているほか、家族等の来訪時に話を聞いたり、利用者の表情や言動から思いの把握に努め、運営に反映させている。家族と一緒に温泉入浴に行ったり、ホームでの食事が楽しいなどの感想が寄せられている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員が働きやすい環境で仕事ができるようひとり一人の意見や提案を聞き皆の同意が得られるよう話し合いをしている。</p>	<p>代表者や管理者は、ミーティング・申し送り時に、職員の意見や要望を聞くように心がけている。働きやすい環境作りに努めており、事業所にとって大事な決定などは、職員の意見を反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の努力や実績など把握し、準社員の保険の加入や給与水準も考慮しながら、各自が向上心を持って働きやすい環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部での勉強会は定期的に行い利用者の、利用者の重度化に伴い特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどでも研修を行っている。又、介護職への育成にも努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームの研修や見学をさせて頂いたり、受け入れも積極的に行っている。又、グループホーム連絡協議会や介護予防従事者専門研修会や事業所の会などに参加し、サービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の話を良く聴いた上で生活状態を把握し、施設の雰囲気やお部屋など観てもらいながら安心出来る生活と楽しみが持て頂けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が困っている事、苦労した事などの経緯を良く聴き、事業所としてどのような対応をしていくのか希望、要望に添えるよう話し合いを行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の状況を確認し、改善に向けた支援の提案、相談を行い、必要に応じて他のサービス機関につながるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の思いを共感し、理解出来るように心がけながら共に過ごす中で協働し、和やかな生活が出来るよう配慮しながら、利用者の得意分野や生活の技、知恵など学び支え合う関係を築くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人をどのように支えていくべきかを話し合いながら無理のない程度に家族の方にも出来ることはお願いし、職員と共に協力しながら行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みのあった方やその地区の老人会長、民生員のかたが訪問して下さったり、家族の方と一緒に訪問して頂いたりする事で交流が持てるようにしている。</p>	<p>利用者の友人が来所されたり、友人宅訪問や自宅訪問・親戚訪問・他のグループホーム訪問・家族同伴での外出など、継続的な交流ができるように支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>協力し合いながら一緒に出来る事、気の合う同士や孤立してしまいそうな方へ座る位置の配慮など行っているが、利用者の方々もお互いに助け合ったり、話が弾んだりしている光景が良く見られる。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>他の施設へ移られて、契約が終了された方には面会に行ったり、家族の方や、その方を良く知る方等にその後の様子をお聴きしたりすることで支援出来るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族には面会の際に、本人にリラックスされている時間に寄り添って話をする中で、一人ひとりの思いを受け止めるように努力している。又、毎日の生活の中での観察に努める	日々の関わりの中で、言葉や表情などから思いを把握し、本人のペースに合わせて自己決定を大切にしながら、その人らしい生活ができるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、面会に来て下さる方々やケアマネージャーからの情報収集に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日その日の心身の状態を観ながら無理のない範囲での行動やその日の予定を立てて過ごして頂いている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の思いや体調も変化するのでそれに合わせて本人も含め家族やスタッフ共の話し合いの中でチームワークを取りつつ、より良い介護が行えるように計画や介護方法を変更している	本人や家族の意向・主治医や看護職の意見・職員の気付き等を反映した本人本位の介護計画を作成し、職員会議で全員が把握している。3ヶ月毎のモニタリングと状態変化時や退院後の見直しもその都度、行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スタッフ全員が同じ目的でケアできるように毎日の日誌や体調記録、申し送りノートなどで情報を共有しより良い実践に向けて努力している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入所者の方それぞれが満足して頂けるよう、食事や入浴の時間や内容についても、又、施設内での過ごし方についてもその時々に対応できるような支援の方法を工夫している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の民生委員さん、公民館長さん、消防団など色々な方々の支援を頂きながら、近隣の方々にも認知して頂き地域の一人として安心して暮らせるように努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の先生方と情報を共有し、些細なことでも相談できる間柄になっていることで、休日、夜間の急変時に対応して頂ける体制作りをしている	本人や家族の希望しているかかりつけ医の受診を支援している。日頃よりかかりつけ医と連絡をとりながら継続できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日のバイタルチェックの中で気付いた情報は速やかに看護師や上司に報告した上で、異常があれば受診や服薬など適切な対応をとるようにしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中の面会や退院に向けてのケアカンファレンスに参加したり、医療連携室との情報交換などスムーズな退院やその後の病状管理について、医療職からの情報をもらえるような関係作りができています</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族にも病状の変化について報告し、現状と今後の見通しや重度化した場合についての意向を確認している。又、受け入れ側とも話し合いの場を持ち情報交換している</p>	<p>医療連携体制を取っている。重度化や終末期についての、ホームの指針があり、家族等の同意書も得ている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>どのスタッフが急変時に遭遇しても対応できるようなマニュアル作りや連絡体制を整えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	特に夜間帯の一人勤務時に災害が発生した場合を想定し、避難誘導の仕方を繰り返し訓練している。又、地域の公民館にも加入し、消防団とも合同で避難訓練を行っている	地区消防分団の指導で、災害や避難訓練を昼・夜間想定して、年2回実施している。ホーム内の避難経路に物を置かない等の工夫をしたり、近隣住民の協力体制や備蓄もできている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎日の生活の中で、慣れが出すぎないように、親しい中にもお一人お一人に対する尊敬を持つての言葉かけや、気持を配慮した上での介護の方法などに努めている	職員の意識向上を図るため、尊厳に対するケアのあり方を話し合っている。利用者のプライバシーを損ねないように、目立たずさりげない声かけや対応で支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の方々が委縮することなく伸び伸びと生活出来て、わがままと思える程に思いを表明出来るように努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設のスケジュールはあるがそれにとらわれず、利用者の方々の思いや体調に沿って個別に対応出来るようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	限られた手持ちの衣服の中で、変化をつけた組み合わせの仕方を一緒に考えたり、女性の方にはお化粧品をしてもらったりとおしゃれにも配慮している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各々の食事形態（全粥や刻み食など）や嗜好に合わせた調理を行ったり、食材の下ごしらえや配膳の手伝いなど力量に合わせた活動を行っている	利用者の好みの献立や特別食に配慮している。職員と一緒に、菜園の玉葱などの食材を収穫に行ったり、下ごしらえや盛り付け・配膳などを行い、職員も同席して食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量のチェックと記録をすることで、体調に合わせた対応が出来るように工夫している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食前、食後の手洗いと口腔ケア、義歯の消毒などを行うことで、毎日の清潔保持に心がけている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツの研修会に参加したり、施設内でも実技練習をしたり、常に体調に合わせたオムツの当て方や排泄方法が出来るように話し合いや検討を重ねて自立の方向を目指している	各居室にトイレがあり、職員は自尊心に配慮した研修を行い自立支援に心がけている。トイレでの排泄を大切に、昼間はリハビリ用パンツやショーツ使用に心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量、水分摂取量、排泄の回数、量などについて記録し、食材や運動などについても便秘にならないために工夫している。スタッフと共に出来るだけ外に出て歩くように働きかけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の予定日は決まっているが、その日のバイタルチェックの結果や病状により日程や時間変更したり、本人の意向を主体に支援している。入浴時間も本人の希望に沿うように努めている	入浴日は決めているが、利用者の希望やバイタルチェック・体調状況に応じて個別の入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣により起床時間も、又、自室で休息をとることも自由であり、ベッドや布団、照明なども本人に合った状態で眠って頂けるように努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理は看護師が行い、変更があった場合は申し送りノートや口頭でも伝え、服薬ファイルはいつでも確認できる場所に保管している。薬については何回もの確認により間違いのないようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活がパターン化しないように季節ごとの花を飾ったり、行事や作業を行うなど変化をつけて、その中で出来ることや興味のあることに参加や協力を依頼している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	国道に面しているため門は閉めているが、屋外へは自由に出て散歩や日光浴が出来るようになっている。施設からも園外に出かけるが一時外出や外泊、家族のお泊りなども自由である	散歩や買い物・ベランダや庭での日光浴・芝居見物・バラ園見学・温泉・畑での野菜収穫・花見・ドライブ等、外出の機会作りを工夫して、日常的な外出の支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>施設で預かっている人もあるが、自分である程度の金額は所持していて必要な物を買ったり、支払いをしたりされている人もいて、その際は職員が立ち会ったりしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>面会に来れないような遠方の子供さん達からの電話には出て話してもらい、送り物などが届くとお礼の電話を掛けて話してもらっている、</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>施設全体が南向きで明るく、ゆったりした居心地の良い空間作りに配慮しているので自室にいる人が少なく、自ずとリビングに集まって一日を過ごされている。又、外に面しているので圧迫感が無く、季節や天候など日々の変化が感じられるようになっている</p>	<p>共用空間は天窓から自然の光が射し、温湿度・換気に配慮され、広々として開放的である。たたみの間やソファがあり、随所にくつろげるスペースがある。季節行事の飾りつけや花が飾られ、家庭的でゆったりとして居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>屋内外のあちこちに椅子を置いたり、気の合った人とおしゃべりが楽しめるようなリビングの配置にするなど居心地良く過ごして頂けるように工夫している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	だんだん馴染みの家具など持ち込まれる方が増えて、在宅での生活に近い居住空間が出来て、気持ちが落ち着けるような雰囲気が出てきた	各居室にクローゼットやトイレが備えられている。テレビ・寝具・椅子・テーブル・ジュタン・家族写真等、それぞれ馴染みの物が持ち込まれている。また、居室入り口に似顔絵と写真が掲示している。家族も気軽に宿泊できるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人や家族と相談して、身体状況に合わせてベッドや家具の配置を配置したり、クローゼットの中も本人が分かりやすいように収納したり、表示している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない